

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	119-4 国際交流推進事業(国際交流協会事業運営補助)	会計	01	一般会計
基本 施策	55 外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費
		項	01	総務管理費
施策	1 多文化共生社会の構築	目	07	文化振興費
		細目	102	国際交流推進事業
基本計画該当	188	行革大綱の重点事項番号	6・7	
担当部課	コード	040200		評価者
	名称	企画振興部文化国際課		氏名
		連絡先	森本 勝美	22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
国際交流に関心のある市民及び団体 (※対象件数)	広域的に連携して事業が行え、在住外国人との交流が行える。
事業目的	
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
事業内容	<p>多文化共生事業 国際交流事業 広報活動事業 国際交流員事業 地区活動事業</p> <p>状況変化等</p> <p>これまで旧市町村国際交流協会(現地区委員会)が行ってきた事業を、多文化共生事業と国際交流事業に振り分け、伊賀市国際交流協会として一体感を持つよう見直した。しかし、依然として地区間で意見の相違がみられ、イベントの周知が上手にできなかった。そのような状況の中、少数ではあるが地域の枠を超えて活動に参加し始めてきている。 また、世界的な景気後退が、外国人住民の生活に影響を与えていることから、地域国際交流協会が果たす役割、期待感が高まっている。これまで以上の行政の支援が望まれる。</p>

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
国際交流協会の統一	団体	目標 1 実績 1	目標 - 実績 -	-	-
多文化共生事業の実施	事業	目標 8 実績 9	目標 10 実績 11	12	14
各種イベント・地区行事への参加(啓発活動)	回	目標 6 実績 11	目標 10 実績 10	12	14

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
国際交流フェスタへの参加者数	多文化に触れる機会の提供	人	目標 650 実績 500	目標 550 実績 1000	600	650
外国語版情報紙の発行部数	在住外国人への情報の提供	部	目標 1,100 実績 1,500	目標 1,500 実績 1,600	1,650	1,700

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	行政の多文化共生施策だけでは、多文化共生・国際交流の推進はできず、これまで地域国際化の推進を担ってきた国際交流協会の協力は必要不可欠であり、地域住民の多文化共生・国際交流に関する意識の高揚と普及を図るため、今後も活動に対して積極的に支援を行う必要がある。
有効性	4	国際交流協会の活動は、地域住民がお互いに交流ができ、共生できる社会をめざすため、行政ができていない部分を補うように行っている。市民が多文化共生・国際交流に関心を持ち、誰でも気軽に参加できる場として国際交流協会が果たしている役割は大きい。
達成度	4	当初計画した事業を全て実施することができた。特に2008年は日本ブラジル交流年として、「伊賀市国際交流フェスタ2008」を市民夏のにぎわいフェスタと同時開催することで、多くの市民に多文化理解を促すことができた。また、市内に住む外国人住民がスタッフとして参加し、日本人スタッフと協働して開催することができた。
効率性	3	市の財政上、補助金額は減額となったため、事業の見直しを行い、国際交流研修事業を廃止することで対応した。しかし、これ以上の減額は、地域の多文化共生・国際交流の推進を後退させることに繋がるため、根本的な事業の見直し、参加費や負担金の増額を検討しなければならない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	伊賀市国際交流協会が設立されて、市内全域に活動範囲が広がり、今後も多文化共生・国際交流の推進をめざして積極的に事業を展開していけるよう行政が支援していくとともに、伊賀市国際交流協会として一体感を持たせるために組織改革を検討する。

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
	委託	委託料		(千円) 3,385	補助金		(千円) 2,947	補助金		(千円) 2,170	補助金		(千円) 2,270	補助金		(千円) 2,370	補助金		(千円) 2,470
	工事	負担金		160	負担金		100												
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	3,545	事業費計(A)	Σ	3,047	事業費計(A)	Σ	2,170	事業費計(A)	Σ	2,270	事業費計(A)	Σ	2,370	事業費計(A)	Σ	2,470
事業投入人員		人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040
フルコスト(A)+(B)				8,585			8,087			7,210			7,310			7,410			7,510

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	3,545	3,047	2,170	2,270	2,370	2,470
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	3,545	3,047	2,170	2,270	2,370	2,470
計	3,545	3,047	2,170	2,270	2,370	2,470
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					